

大ツ凡圖ノ如シ

(用紙美濃紙横切)

番號	、、、、	發送時	明治何年何月何日午何々時何分
輸送指揮官或ハ宰領者	官	姓	名
受領官或ハ受領者	乙地兵站司令部		
一 精米	、		
一 何々	、		
一 何々	、		
一 内何々ノ者	、		
一 何々ノ者	、		

番號	、、、、	發送時	明治何年何月何日午何々時何分
輸送指揮官或ハ宰領者	官	姓	名
乙地兵站司令部宛	何所管		
一 精米	、		
一 何々	、		
一 何々	、		
一 内何々ノ者	、		
一 何々ノ者	、		

番號	、、、、	到着時	明治何年何月何日午何々時何分
輸送指揮官或ハ宰領者	官	姓	名
甲地兵站司令部ノ送狀ニ對スル受領書	何所管		
一 精米	、		
一 何々	、		
一 何々	、		
一 内何々ノ者	、		
一 何々ノ者	、		

- ① ハ發送官或ハ宰領者ノ官印
- ② ハ物件ノ摺寫ヲ檢シタル將校ノ檢印
- ③ ハ受領官或ハ受領者ノ官印
- ④ ハ物件ノ摺寫ヲ檢シタル將校ノ檢印

附表第二號

備考	行進ノ區 (鐵、船、步)	旅		用			軍	
		發着及中 一 間兵站地 二 發着及中	發着及中 三 發着及中	種別 四 種別	將官 五 將官	佐官 六 佐官	發起地 七 發起地	旅券ヲ調製 スル官衛或 ハ團隊
注意 行進區別ノ欄ニハ兩兵站地間毎ニ徒歩、鐵道、船舶等ヲ明 示スヘシ 此券ヲ軍屬ニ用ユルキハ官等相等ノ欄ニ記入ス (五寸)								

明治 年 月 日

(七寸)

0880

0388

州吏預二級 番號 日	八圍廻 軍 其責ニ任スベキモノトス 三券中ニ指示セシ経路ヲ變更シタ 川 但同疾病其他事故ノ爲メ兵站司令部適當ト認定シ供給スルモ 二種秣車馬數ニ應スル額並ニ特ニ供給ヲ受クベキ車馬ハ券面 一此際又所貯者ハ兵站地ニ達スルヤ直ニ之ヲ兵站司令部ニ出シ 池ヲ檢査共供シ而シテ供給ヲ受クルモノトス 注意 此券ハ軍糧ニ用エハカハ官給秣給ハ斷ニ請入ス 注意 往來調限ノ間ニハ南兵站車間並ニ封込、搬送、積載等ハ可 注スベシ	袋 (裏面) 一此際又所貯者ハ兵站地ニ達スルヤ直ニ之ヲ兵站司令部ニ出シ 池ヲ檢査共供シ而シテ供給ヲ受クルモノトス 二種秣車馬數ニ應スル額並ニ特ニ供給ヲ受クベキ車馬ハ券面 一此際又所貯者ハ兵站地ニ達スルヤ直ニ之ヲ兵站司令部ニ出シ 池ヲ檢査共供シ而シテ供給ヲ受クルモノトス 注意 此券ハ軍糧ニ用エハカハ官給秣給ハ斷ニ請入ス 注意 往來調限ノ間ニハ南兵站車間並ニ封込、搬送、積載等ハ可 注スベシ	正七

8880

0389

何所管何地兵站司令部旬報 明治何年何月何日

兵站司令官 官 姓 名 (印)

(用紙美濃紙)

事 記	輸送用徴發(人員馬)及人員馬料數		人員及馬匹數表																				
	前旬 現在	現在數	區分種類	種別	兵站司令部守備隊兵站輜重計	同上前旬報ノ現在ニ比シテ	通行者	入病院(廠)者現在數	現在禁者	人員及馬匹數表													
										人員及馬匹數表													
	比前 ノ現 シニ	増	減	人員合計	人夫(備從馬卒ヲ含ム)	僱員	蹄鐵工(下)長	獸醫	軍醫部下士(野病人ヲ含ム)	軍醫	軍吏部下士	軍吏	兵卒	下士	將校	種別							
馬匹計	乘馬	駟馬	人員合計	人夫(備從馬卒ヲ含ム)	僱員	蹄鐵工(下)長	獸醫	軍醫部下士(野病人ヲ含ム)	軍醫	軍吏部下士	軍吏	兵卒	下士	將校	種別								
事 記			彈 藥 數																				
			種別																				
		野砲																					
		山砲																					
		小銃																					
		拳銃																					

兵站司令部旬報

一 兵站部ノ職員健全者司令部區畫中ニハ守備隊及兵站輜重ニ屬スル者ヲ除キ凡テ兵站司令官ノ轄下ニアル職員ハ皆之ニ記入ス
 二 守備隊ノ人員ニシテ兵站部員ヲ兼掌スルモノハ司令部ノ區別シテ之ヲ記載スベシ但シ之カ爲メ守備隊ノ人員ヲ減シ置ラ要セズ
 三 總テ當該兵站司令官ノ所管ニ屬セザル者(通行者其他)ハ軍吏部或ハ軍醫部等ノ區別ヲナサズ單ニ將校下士兵卒ノ區畫中ニ記入スルモ妨
 四 高等文官ハ將校ノ區畫ニ又判任文官ハ下士ノ區畫中ニ軍人ト區別シテ記入スヘシ又備役醫或同馬醫ハ軍醫或ハ獸醫ノ各區畫中ニ區別シテ
 記入スベシ

附表第五號

右ハ何月何日ヨリ何日間舍主ヨリ供給スヘシ 何所管 何地 兵站司令部 (官印)		供 給 ス ヘ キ マ 人	將 官 佐 官 尉 官 下 士 兵 卒 馬 匹	何 村 何 番 地 舍 主 姓 名
		宿 舍	糧 秣	相 當 官 相 當 官 相 當 官 相 當 官 其 他

(分七寸一)

若シ用紙ナキハ適宜ノ紙ト記載法トヲ用フルコトヲ得

↑ (二寸五分) ↓

0392

附表第六號ノ一

番號		供給者		官姓名	
、、、		、、、		、、、	
人夫供給券 供給ヲ爲スヘキ市、町 或ハ村役所等ノ名					
人夫		車		人乗用	
、、、		(共馬人)		、、、	
馬		荷物用		馬車、	
、		、		、	
供給物ヲ 使用スヘキ地域 何町ヨリ何村ヲ經テ 何市ニ至ル間					
人夫		人乗用		人力車、	
、、、		、		、	
馬		荷物用		馬車、	
、		、		、	
右此券所有者ニ供給スヘシ 何所管 明治何年何月何日 何地 兵站司令部官印 供給ヲ爲スヘキ市、町或ハ村役所等宛					
(寸四)					

附表第六號ノ二

番號		供給者		官姓名	
、、、		、、、		、、、	
糧食供給券 供給ヲ受クヘキ部隊長等ノ官姓名					
人員		馬匹		、、、	
、、、		、		、	
供給日數 何月何日ヨリ 何月何日マテ					
糧食供給券 供給ヲ受クヘキ部隊長等ノ官姓名					
人員		馬匹		、、、	
、、、		、		、	
右ハ何々倉庫ヨリ糧食、馬糧ノ供給ヲ受クヘシ 何所管 明治何年何月何日 何地 兵站司令部官印					
(寸四)					

附表第七號ノ一

明治何年何月何日 <small>何所管</small> 何地兵站司令部官印	入院券 <small>隊號</small> 官姓名	番号 <small>官印</small>	入院券 <small>隊號</small> 官姓名	番号
	(分五寸二)			

(分五寸三)

附表第七號ノ二

右ハ何月何日ヨリ何日迄輕(重)營舎ニ入ルヘシ 明治何年何月何日 <small>何所管</small> 何地兵站司令部官印	入囚券 <small>隊號</small> 官姓名	番号 <small>官印</small>	入囚券 <small>隊號</small> 官姓名	番号
	(分五寸二)			

(分五寸三)

0394

秘

第二種第一〇號

明治三十一年一月

參謀本部第二部

兵站勤務令改正理由書

0395

兵站勤務令改正理由書

本勤務令改正ノ必要ナルハ主トシテ廿七八年役ニ於ル實驗ノ結果ニアリ然レモ其大体ニ於テハ現行ノモノヲ變更スルノ必要ナシ故ニ特ニ大体ノ改正理由ヲ掲ケス直ニ逐條ニ就キテ其重ナル改正事項ノ理由ヲ述ヘントス

第一篇

第一章

第三 占領地總督部ヲ加ヘタルハ戰役ノ實驗ニ依ル(以下皆同シ)

第二章

兵站業務ノ諸官ニ兵站總監本部參謀長ヲ掲ケシハ兵站總監部内ニ在テハ別ニ此業務ヲ專任スヘキ者ナキ故特

0396

ニ此指定アルヲ必要ト認タルニヨル但シ兵站總監部中ニ此
官ノ設置アルヘキ豫定ナリ若シ設置セラレサレハ同部中ノ
高級參謀ヲ以テ特ニ之ニ任スルヲ要ス

兵站監ノ任務中ニ混成旅團ヲ掲ケシハ戰時編制ト一致セン
カ爲メ又一地方ヲ加ヘタルハ戰役ノ實驗即チ南部及金州半
島兵站監ノ設ケラレタルニ依ル

第三章(現行令第三章)

第一 第三項ニ首要ナル港灣ヲ加ヘタルハ上陸地ハ必スシ
モ軍ノ連絡點トナラサルニ依ル
内國戰ニ於ル兵站管區ヲ改メタルハ内地一師管ノ地域昔日
ニ比シテ狹隘トナリタルニ依ル

0397

第二 兵站部ノ任務中

一ニ充足シテ加ヘタルハ交通不便ナル東亞ノ地勢ニ於テ凡
テノ物資ヲ獨リ後方ヨリノ追送ノミヲ以テ満足スルコト能
ハス宜ク地方ニ於テ之ヲ收集シ以テ作戰軍ノ需要ヲ滿スノ
任務ヲ加フルノ必要ヲ認メタルニ依ル

現行令第三章第二ハ兵站監主要ノ任務ナル故之ヲ同監ノ特
別條章ニ掲クルコトトセリ

第四章(現行令第四章)現行令第三ハ同長官ノ主要ナル任務ナ
ルヲ以テ改正令ニ於テハ之ヲ第一ニ加ヘタリ

第二 現行令ニ於テ運輸通信長官ノ任務中ニ船舶輸送業務
ヲ加ヘス然ルニ戰役ノ實驗ニ依ルニ陸軍ヲ輸送スル爲メノ

0398

船舶輸送ハ兵站總監並ニ運輸通信長官ノ指揮下ニ屬スルノ
適當ニシテ緊要ナルノ結果ヲ得タリ因テ船舶輸送ノ業務ヲ
之ニ加ヘタリ其機關(船舶輸送司令部及碇泊所司令部)ノ如キ
ハ假リニ茲ニ其名稱ヲ設ケタルモノナリ電信部勤務令及戰
時郵便部勤務令ハ其ノ制定ヲ要スヘキ者ナルヲ以テ亦假ニ
之ヲ掲ケタリ

現行令第五章及第六章ノ野戰高等電信長及野戰高等郵便長
ハ全ク削リタリ是レ本篇ノ章ヲ逐テ列記スルモノハ兵站總
監ニ直隸スル諸官ノ名稱及任務ヲ掲ケ他ノ者ヲ掲ケサルヲ
穩當ト爲シ且電信及郵便業務ハ鐵道及船舶業務ト等ク別ニ
勤務令ノ制定アルヘキ筈ナルヲ以テナリ

四

0399

第五及第六章ニ各其長官ノ職務ノ規定ヲ削リシハ各其ノ勤務令ニ掲ケラルヘキ事項ノ重複スルヲ避ケンカ爲ナリ
第二篇 本篇ハ他ノ篇ト異ニシ更ニ三部ニ分割セリ其第一部ヲ綱領トシ第二部ヲ兵站監部ノ業務トシ第三部ヲ兵站司令部ノ業務トセリ是レ各部ノ業務ハ頗ル復雜ニシテ一篇ヲ通シテ記載スルトキハ措雜混亂ヲ來スノ虞アレハナリ
第八章(現行令第十章)現行令ニ於テハ表題ニ兵站基地等ノ名稱ヲ掲ケアレモ是頗ル穩當ナラス此章兵站線路一般ノ構造法ヲ示シタルモノニシテ基地等ノ詳細ナル説明ハ後章別ニ記載セラル故ニ本章ノ表題ヲ斯ク修正シタリ現行令本章第一 第二項ノ記載法ハ兵站基地ノコトヲ記スルコト少シク

0400

其ノ要領ヲ缺クカ如シ故ニ修正ヲ加ヘタリ其ノ第二集積場
ヲ記スル所モ亦少シク要領ヲ缺ク即チ集積場ヲ置クノ一
的タル戰地ヨリ甚タ遠カラサル地ニ豫備品ヲ備ヘ置クコト
ニ就テ其記載方十分ナラス故ニ亦本文ノ如ク修正シタリ
改正令ニ於テハ本章ニ集積場ノコトヲ悉ク記載シ而シテ現
行令ノ第三十二章ヲ全ク削リタリ其理由下ノ如シ
現行令ニ於テハ集積場ニ一ノ兵站司令部ヲ置クノ制ナリ然
レモ集積場ナルモノハ陸軍大臣ノ管轄ニ屬シ且ツ兵站管區
外ニ設置スヘキモノトス故ニ其狀況ハ平時内地ニ於ル諸倉
庫地ト異ナルコトナシ唯之ヲ戰地ニ近キ所ニ臨時建設シタ
ルニ過キス故ニ之ヲ兵站地ト爲シ之ニ兵站司令部ヲ置クノ

六

0401

必要ヲ認メス之ヲ管理スルノ方法ニ於テハ陸軍大臣別ニ適宜ナル方法ヲ設クルモ可ナラン又其ノ地ノ警備ニ就テハ其所在地ヲ管轄スル陸軍官衙之ヲ擔任スルヲ至當トス既ニ廿七八年戰役ニ於テハ字品集積場ニハ集積場兵站司令部ヲ設置セザリシニ非スヤ(宇品ニアリシ兵站司令部ハ第五師團ノ兵站基地司令部ナリ)

現行令第三十二章ノ第三ニ鎮守府司令長官云々ノ項アリ然レトモ陸軍用ノ輸送ハ總ヲ運輸通信長官ノ直接ニ管理スルコト(改正令第四章第二甲ノ(三)參照)ト爲シタル故之ヲ削リタリ現行令ニ於テハ衛生材料ハ貨物廠中ニ含入セラル然レトモ實驗ニ依リ別ニ衛生材料倉庫ヲ設ケ之ニ馬匹衛生材料ヲ

七

0402

モ加へ而シテ之ヲ陸軍省醫務局ノ管轄ニ屬スルコトトセリ
現行令第十一章ハ戰時編制ニ詳記シアルヲ以テ全章削除シ
又本章末項ニアル野戰被服廠モ亦之ヲ削レリ是レ集積場貨
物廠ニハ此等ノ物料ヲモ貯藏スルヲ得ヘケレハナリ
第九章(現行令第十二章)現行令ニ於テ兵站部ノ其業務ヲ始ル
ノ時期ヲ當該作戰軍ノ衛戍地ヲ離ル、ノ時トセリ然レトモ
數師團ヨリ成立スル軍ノ衛戍地ヲ離ル、ノ時ハ恐ラクハ數
日ヲ要スヘク從テ兵站部ノ業務ヲ始ムルノ時期頗ル曖昧ナ
リ故ニ改正令ニ於テハ編成成立セハ直ニ業務ヲ始ムルコト
トセリ又現行令ニ於テ兵站部ノ成立スヘキ地點ヲ參謀總長
ヨリ指定スル制ナルヲ改メテ當該作戰軍司令官之ヲ指示ス

八

0403

ルコトトナシタルハ作戦軍司令官自己ノ任責ヲ以テ之ヲ定
ムルヲ至當ト認メタルニ依ル

本章末項ハ便利上適當ト認定セシニ由ル

第十章 是ハ現行令第十四章ヲ繰上ケタルモノナリ但シ表
題ノ名稱穩當ナラサル故斯ク改メタリ

第十一章 (現行令第十三章)之ヲ此位置ニ挿入セシハ順序上
其ノ穩當ナルヲ以テナリ

第一ハ現行令第十三章第一項ノ主旨ヲ尙適切ニ明示シタル
ナリ

第二ハ現行令第二十七條第二項ヲ修正セシナリ同項ニ於テ
ハ兵站監ハ兵站司令官ヲ任命シ之ヲ轉職シ或ハ之ヲ送還シ

及之ヲ復員セシムルノ權アリ是ハ我兵制上許サ、ル所ナル
ヲ以テ之ヲ削除セリ
末項ノ憲兵、軍醫云々ハ實驗上必要ト認メ已ニ戰時編制ニ規
定セル所ナリ
第四ハ現行令ニ於テハ獨リ兵站司令官ノ爲メノミニ此制限
ヲ掲ケタリ然レトモ是ハ兵站監ニ對シテモ亦大ニ必要ナル
ヲ認メ茲ニ之ヲ掲ケタリ但シ絶對的ニ之ヲ使用スヘカラサ
ルモノトナサ、ルコトニセリ是實驗ニ依ル所ナリ
本章徵罰權ノ事ヲ削リタルハ陸軍懲罰令ニ規定シアルニ依
ル又軍法會議ノ事ヲ掲ケシハ陸軍軍法會議ニ關スル法律ノ
結果並實驗上其必要ヲ認メタルニ由ル

0405

現行令ニ於テ兵站監ノ定期報告ヲ出スノ規定ナシ然レトモ
之ヲ出スヲ必要ト認メ本章ノ末項ヲ加ヘタリ

第十三章 是現行令ノ第二十八章ヲ繰リ上ケタルナリ

本章ハ二十七八年役ニ鑑ミ大ニ増補ヒシ所ニシテ作戰軍背
後ノ道路ニ關シテハ殊ニ重ヲ置キシナリ

第十四章 (現行令第十六章)重ナル修正ハ新設セル兵站獸醫
部長ノ事ヲ掲ケシニアリ

又病馬ニ屬スル馬卒トノ交代者ヲ出ス補充隊ヲ輜重兵ト限
ラス且何レノ留守師團ニテモ可ナルコトニセリ是其用途ノ
範圍ヲ廣メンカ爲ナリ

第十五章 (現行令第十七章)兵站監本部業務ノ主管者ヲ參謀

長ノミトセルハ他司令部内ノ規定ト同一ニセシナリ

第十六章 (現行令第十八章)ハ副官ノ外參謀ノ職務ヲ加フ是
レ新編制ノ結果ナリ

現行令第二十章ヲ削除シタルハ改正令第二十二章ノ新設セ
ラレタル結果ナリ

第十八章 (現行令第二十一章)憲兵部長ハ毎月三回定期報告
ヲ兵站監ニ出スコトトセリ是實驗上必要ヲ認めタルニ由ル
(以下他ノ部長ニ關スル定規報告ノ理由皆之ニ同シ)

第十九章ヲ新設シ現行令ノ第二十四章ヲ削リタルハ兵站監
ノ軍法會議ヲ管轄スルコトニ爲シタル結果トス

第二十章 (現行令第二十六章)本章ハ現行令ノ者ノ記載法ヲ

0407

前後増減シ以テ其ノ順次ヲ整ヘタルナリ

現行令ニハ兵站主地遠隔セシ場合等ニ於ル處置ヲ掲ケアル
モ是等ハ寧ロ兵站監ノ任務トス故ニ之ヲ削除セリ

第二十二章ハ新設トス廿七八年役ニ於テ馬匹ノ衛生事務完
全ナラス爲メニ兵站部内ニ於テ馬匹ノ廢棄ニ屬セシモノ甚
多シ是兵站監部ニアル馬匹衛生上ノ機關頗ル微弱ナリシニ
由ル即此部ノ新設セラレシ理由ナリ

現行令第二十五章即軍郵便部長ノ事ヲ削リタルハ是ハ兵站
部ニ屬セサルト別ニ郵便業務ニ關スル勤務令ノ制定セラル
ヘキ筈ナルトニ由ル

第二十三章 是ハ現行令第二十七章兵站電信提理ヲ部長ト

改メタル結果ニシテ其ノ職務等ハ凡テ現行令兵站電信提理
ノモノニ同シ

第二十四章 (現行令第二十九章)兵站司令部ノ定員ヲ掲ケサ
ルハ戰時編制ニ示シアレハナリ

第二十五章 (現行令第三十章)兵站司令部ノ所屬長官ハ兵站
監及留守師團長ノミナラサルコトハ二七七八年役ノ實驗ス
ル處ナリ是本章第一ヲ改正セシ理由ナリ

第二十六章 (現行令第三十一章)兵站司令部ノ稱號ヲ規定セ
シハ之ヲ一定ニセンカ爲ナリ本章第四ハ各官衙ノ職域ヲ定
メ其ヲシテ紛雜ナカラシムルニアリ

第二十八章 (現行令第三十四章)陸地兵站路ハ現行令ニ依レ

0409

ハ各師團ノ爲メ一條宛ヲ設置スルノモノ、如シ然レトモ狀
況ニ依リ必ス一師團ノ爲メ一條ヲ要セス又之ニ反シ一支隊
ノ爲メニ一條ヲ要スルコトアルヘシ是レ本章第一ニ其員數
ヲ一定セサル理由ナリ

第二ニ於テ陸地兵站路ノ數個設置セラレシトキ此各陸地兵
站路ノ業務ヲ一ノ兵站監部ニ於テ直接ニ執行スルハ爲シ能
ハサル所ナラレ是第二ノ第二項ヲ設ケシ理由ナリ又同第三
項ニ兵站地間ノ距離ヲ三里乃至六里ト改メタリ是レ二十七
八年役實驗ノ結果ナリ

第三モ亦二十七八年役實驗ノ結果トス

第四モ二十七八年役ニ於ル實驗ニシテ全兵站路上ノ總兵站

司令部ヲ直接ニ一ノ兵站監ノ統轄スルコトハ實驗上到底爲シ能ハサル所ナリ是レ監視地區ノ長ヲ新設シタル理由ナリ又此長ヲ一兵站司令官ヲシテ兼務セシメサルハ其ノ業務ヲシテ公平ナラシメンカ爲ナリ

第二十九章 (現行令第三十五章) 本章ハ重ニ現行令ノ意義ヲ擴充セシニ過キス

第一ノ第二項及第二ノ第一項ノ末段ハ二七七八年役ノ實驗ニ由リ必要トシテ加ヘシナリ

第二ノ第二項ハ新ニ加ヘシ所ナリ是現行令ニ於テハ此倉庫建設ノ擔任者分明ナラサレハナリ

第三 通行スル軍隊ヲ使用スルコトニ就テ特別ノ時機ニ限

0411

リ之ヲ爲シ得ルコトニセリ是又實驗ニ由ル所ナリ
現行令中碇泊場アル地ノ兵站司令官ノ任務ヲ掲ク然レトモ
此等ノコトハ同官單獨ノ任務トシテハ過大ナルヲ認ム因テ
之ヲ削除セリ但シ是等ノ業務ノ規定ハ戰時輸送令成立セハ
自ラ分明ナルヘキノ見込ナリ
現行令ニ(第八十三枚)兵站病院ノ設置ニ關スルコトアリ是ハ
衛生勤務令ニ屬スヘキモノト認定セシ故之ヲ削除セリ
第六 兵站司令官ノ懲罰權ヲ大隊長相當トセリ是レ該司令
官ヲ少佐乃至大尉トセル結果ナリトス
第三十章 (現行令第三十六章)兵站通信錄、兵站事務錄ヲ廢止
シ之ニ代フルニ陣中日誌ヲ以テスルコトトセリ是二十七八

年役ノ經驗ニ由リ種々ノ帳簿ヲ存スルノ反テ不便ナレハナ
 リ但シ陣中日誌ノコトハ戰時高等司令部勤務令附録ニ詳記
 セル故茲ニ掲ケス

第二 送狀ヲ設ケタリ是亦二十七八年役ノ實驗ニ徴シテ其
 必要ヲ認メタルナリ

第三 軍用旅券ハ官衙或ハ團隊ニテモ調制シ得ルコト、セ
 リ是ハ便利上ヨリ來リシナリ

第八 兵站司令部ヨリ呈スル報告書式ヲ改メ且ツ毎月六回
 糧秣金錢及貨物報告ヲ出スコトヲ加ヘタリ是皆二十七八年
 役ニ於テ其必要ヲ認メタルニ由ル

第三篇 現行令ニハ單ニ鐵道事業ノミヲ掲ク然レトモ鐵道

0413

業務ノ詳細ナル規定ハ輸送令ニ掲クヘキ筈ナルヲ以テ茲ニ
ハ全ク之ヲ削リ而シテ鐵道及船舶ノ兩業務ニシテ單ニ兵站
部ニ關連セル事項ノミヲ掲ケタリ

兵站勤務令改正由理書終

0414